

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	田沢湖まつり開催費補助金				
担当課係名	観光課	観光係	作成者	藤岡純	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画のページ 29
	基本計画	観光誘客体制の整備と観光資源の掘り起こし			
	主要施策	テンミリオン計画の推進			
予算費目	一般会計	7款 商工費	1項 商工費	3目 観光費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分		
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input checked="" type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	田沢湖に古くから伝わる「たつこ伝説」を市民に継承し、それに因んだ龍神祭りを広く市内外に紹介する。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	龍神祭りを紹介し観光客の誘致を図り、地域の振興と活性化に寄与することを目的とする。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	辰子屋敷神事、生保内節踊り、双龍の出会い、たざわ湖大花火 など

【事務事業の推移】

(単位:千円)

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	観光客数	人	11,700	22,000	
	成果指標	観光客数対前年比	%		188	
投下コスト	項目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)			1,500	1,500	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源		1,500	1,500	
	人件費(B)			785	807	
	職員数			0.1	0.1	
	職員平均人件費			7,853	8,071	
(A)+(B)投下コスト			2,285	2,307		
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)			195	105	
	市民1人当たりのコスト(円)			72	73	

【事務事業の今までの成果】

伝説に基づいた迫力ある双龍や各種参加型イベントは県内外から観光客を集め、周辺地域にも経済効果をもたらしている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	周辺宿泊施設等の祭りへの意識向上に期待

【一次評価】

判定	事業の方向性		判定に至った理由
B	A	現状のまま継続(実施)	双龍への参加者の増加を検討
	B	見直しの上で継続(実施)	
	C	大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D	休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

少子高齢化の影響で地元市民の双龍への参加が減ってきている。子供でも担げるような龍(軽量化)にすることで祭りへの参加者を増加させたい。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B	観光の拠点でもある田沢湖湖畔で実施される事業であり、事業内容の見直しなどを進め、地域の活性化に更に寄与できる事業となるよう努めていただきたい。

